

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○4月8日～

先週から4月がスタートしましたがドル/円は停滞した動きが3月後半からずっと続いています。高値圏で張り付いたまま下がってきません。

円高になる要因があまりないことが原因かと思いますが152円超えでは介入警戒感が高まるため高値トライの動きも限定的です。

何かをきっかけに動き始めると大きな動きが出るかもしれないので、レバレッジが高くなっていないかリスク管理をしっかりしたい局面です。

3月は株も金も仮想通貨もすごい勢いで高値更新をしていき、買うに買えないと思って眺めていた人も多いかと思います。

長期的には不動産も含めて上昇が続いていますが所得や賃金の伸びから見ても資産価格上昇は行き過ぎに見えます。

リーマンショック以降に始まった世界的な金融緩和でマネーが溢れかえっていることが大きな原因ですが金融緩和に比べて、金融引き締めは規模もスピードも小さく、結果的に15年前と今では金融環境が全く変わってしまいました。

このまま緩和的な状況が続けば、日本株もドル/円レートもさらに高値更新の可能性あることを頭に入れながら、目先は年初からの上昇の反動に対する調整(下落)を意識しながらトレードしたいです。

今週は米国では消費者物価指数、卸売物価指数と2つのインフレに関する指標発表がありますが最近の米国の指標を見るとインフレ再燃への警戒も出始めています。

米国以外の国が先に利下げに動く可能性もあり、利下げに動いた通貨は売られやすくなることから通貨の強弱関係が変わってくるかもしれません。

カナダは今週政策金利発表がありますが据え置き予想となっています。

カナダの場合、米国より先に利下げに動く影響が大きいいため米国の動きを後追する形で利下げに動くとの予想が多くなっています。

また、中東情勢が悪化してきているため原油価格が大きく上昇するなどの動きになってくれば日本もさらなる利上げに動く可能性もあります。

● テクニカルで見た重要ポイントは？

<ドル/円>

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

ドル／円は152円を超えることができず、先週は150.5－152円の狭いレンジで停滞した動きが続きました。

先週末の雇用統計の発表直後に急落した後は戻して、結局151円台半ばで相場は終わっています。今週も152円トライの動きが出るかどうかには注意しながらの取引になります。

下がってもすぐに買いが入る状況が続いており、150円を割り込むまでは強い動きが続きそうです。

下値は先週安値の150.8円の下は150.2円あたりにもサポートがあり、ここを割り込んでくると148円台後半が下値のメドになりそうです。

<気になるクロス円>

クロス円も動きが読みにくい状況です。

先週は上昇してきているペアもありますが高値圏にあるため株価が大きく下がっていく動きなどが出ると流れが急に変わってしまうリスクもあります。

週足で見ると上昇しているペアが多いため、基本的には下がってきたら押し目買いを狙う戦略が安全です。

原油や金など資源価格が上がってきているので、さらに上がっていく動きが出ると資源国通貨(豪ドルやカナダドルなど)にとっては追い風になる可能性があります。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称:〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では2月貿易収支などがあります。

米国では3月消費者物価指数、3月月次財政収支、FOMC議事要旨、3月卸売物価指数、前週分新規失業保険申請件数、4月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州ではドイツで2月鉱工業生産、3月消費者物価指数、ユーロ圏でECB(欧州中央銀行)政策金利発表、ラガルド・ECB 総裁定例会見などがあります。

ほかにはニュージーランドとカナダで政策金利、中国で3月貿易収支の発表などがあります。